



主催 公益財団法人 日本発明振興協会
後援 文部科学省・東京都教育委員会

令和 8 年度こども発明教室 入室案内

＜こどもの可能性をひろげる STEAM 教育＞

STEAM とは、Science（科学）Technology（技術）Engineering（工学）Arts（芸術・教養）Mathematics（数学）の頭文字です。社会とテクノロジーの関係がますます密接になっていくこれからの時代、この5つの領域の理解と学びを具体化する能力が必要とされています。STEAM 教育では、横断的な知識や技能を用いながら、主体性・協働力・やり抜く能力・課題解決能力を発揮して、問題解決をすすめる新たな価値を創造することをめざします。STEAM 教育発祥の米国では、新たな発明家の育成をめざす教育とまでいわれています。

ものづくりや工作は、作りたいものをイメージし、材料を組み合わせでどの様につくるかを考え、道具の使い方や材料の特性を学び、実際に手を動かしていろいろな体験をしていきます。その中でさまざまな課題を見つけ、問題を解決し、創造、実現していくための手法を身につけます。

「こども発明教室」では、身のまわりの材料を活用して興味あるものを作るなどの活動を行い、いろいろな試行錯誤を経験して、豊かな発想、思いつき、すばらしいひらめき、連想等の創造性の開発育成につとめ、発想を実現する能力を高め、夢を抱くこどもの育成につとめています。「こども発明教室」で未来の発明家をめざしましょう！

- ◆対象 小学3年生～中学2年生
- ◆期間 令和8年5月17日（日）から令和9年2月14日（日）まで
- ◆募集人数 A・B・C の3グループ編成で各グループ32人 計96人
- ◆参加費 年間10,000円（材料費込み）を入室時にお支払いいただきます。
お支払いいただいた参加費は返金いたしません。



- ◆開室時間
 - Aグループ 毎土曜日 14:00～16:30
 - Bグループ 毎日曜日 9:30～12:00
 - Cグループ 毎日曜日 13:00～15:30
 決められた曜日・時間に1年間を通して通っていただくことが前提となります。
ただし、7月・8月（夏期休業中）については、開室日およびグループ編成を別途定めます。

◆活動の概要

第1期 5月～7月	1. 入室式とオリエンテーション 2. 基礎技術指導 木工、電気 等 3. 共通課題作品の製作 4. 構造と動力
第2期 7月下旬～8月上旬	アイディア工作 (1) 製作するものの決定 (2) アイディア工作 (3) IC 教室（4年生以上の希望者）
第3期 9月～12月	1. アイディア工作（第2期作品の改良または新作品） 2. アイディア工作完成 3. グライダー大会
第4期 1月～2月	1. 作品展示と審査会 2. 修了式（修了証書授与及び優秀作品の表彰）

〈続きは裏面へ〉

▼参加申し込みはこちら

◆参加申し込み

右側の QR コードからお申し込みください。

お申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/zAyS6pB7q0>

オンラインでの手続きが難しい場合やお問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

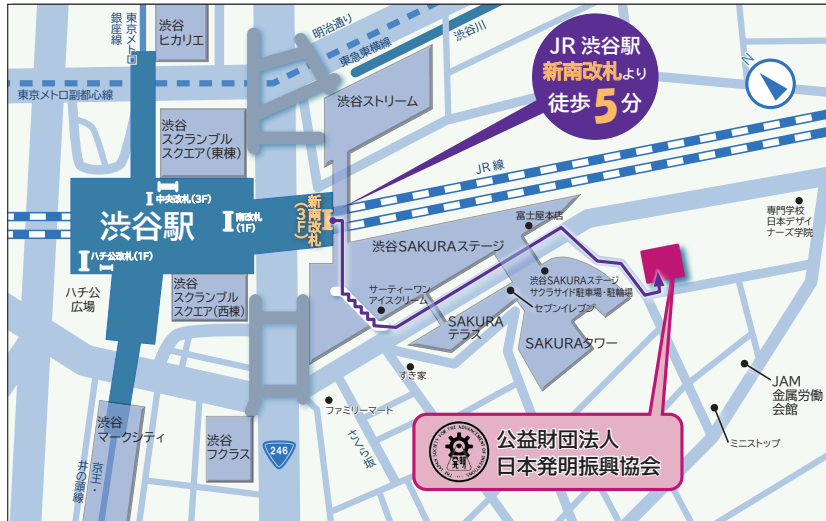
※お送りいただいた個人情報は、指導等の基本業務および本教室からのご連絡のみに利用し、利用目的以外には使用いたしません。



◆申し込み締め切り 4月20日（月）※申込者が多数の場合は、抽選となります。

結果は4月末までに郵送にてお知らせいたします。5月になっても通知が届かない場合は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◆子ども発明教室の場所 日本発明振興会館 地下1階（東京都渋谷区桜丘町4番22号）



◆連絡先

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町4番22号

公益財団法人日本発明振興協会 子ども発明教室事務局

Tel: 03-3464-6991 Fax: 03-3464-6980

お問い合わせフォーム：<https://forms.office.com/r/KvrhtzEfJW>

▼お問い合わせはこちら



保護者の声

工作好きな我が子にとって、専門家の先生のもとで本格的な道具を使うことができる貴重な機会となっています。夏休みに制作した作品は、作り方や苦労した点などを振り返りつとまとめて自由研究として提出しました。(小学校5年生の保護者)



私がお子さんのころには当たり前だった自然の中で遊ぶことや自分で何でも作ってみる機会が著しく乏しい都会育ちの子供に、貴重な機会を与えてくださり感謝しております。(小学校4年生の保護者)



小学生の時に2年間子ども発明教室に通っていた息子が、中学生になって自分で考えたカードゲームで特許を取得しました。特許の出願申請にあたっては、日本発明振興協会の発明相談も利用させていただきました。子ども発明教室を通じて、考えたモノを形にしていくなじみを感じることができたと思っています。(卒業生の保護者)

